

# 仕 様 書

## 1 業務名

未来の I T 技術者発見事業委託業務

## 2 目 的

近年の情報通信技術の急速な発展に伴い、パソコンや携帯電話などの従来からの情報機器だけでなく、家電や自動車、医療機器など多種多様なモノがインターネットに繋がる「I o T (Internet of Things)」すなわち「モノのインターネット」の活用が注目され、普及に向けた取り組みが加速している。

そのような中、急激に増加する各種データを分析・活用し、I T 技術を駆使した新商品・新サービスを創出できる資質を持った I T 技術者の存在は、今後益々重要なものとなることが予想される。

そこで、本業務では、若く感性の育つ時期に、少しでも多くの子どもたちにプログラミングに触れる機会を与え、プログラミングに対し興味を抱く子どもを増やしていくとともに、IT 業界の現状や職種イメージの理解を促進する業界説明出前授業や、県内 IT 人材とともにアイデアの形作りに取り組むワークショップの開催などにより、将来イノベーションを創出することができる次世代 I T 人材の育成を図る。

## 3 事業内容

### (1) 小中学生向けプログラミング教室の開催

#### ① 実施概要

- (ア) 対 象 者 県内の小学生（4～6年生）、中学生
- (イ) 開催回数 5 回程度（各回とも半日程度）
- (ウ) 募集人員 1 回当たり 20 名程度
- (エ) 開催時期 小中学校の長期休暇期間又は週休日
- (オ) 開催場所 大分県内（ただし、津久見市、国東市、日出町、玖珠町及び九重町でそれぞれ 1 回開催すること）

#### (カ) 内 容

- (a) プログラミング教室の開催に関すること
  - i プログラミング教室のカリキュラムの設定に関すること
  - ii 開催日の設定に関すること
  - iii 講師の選定、依頼に関すること
  - iv 会場の準備、後片付けに関すること
  - v 使用する機器の準備、後片付けに関すること
  - vi 参加者へのアンケート作成・収集等に関すること
  - vii 当日のテキストの作成に関すること
- (b) 広報及び参加者の募集に関すること
  - i プログラミング教室の広報に関すること
  - ii 参加者の募集に関すること
  - iii 参加者の決定に関すること

#### ②業務の詳細及び補足説明

- (ア) カリキュラムの設定に関すること
  - ・ カリキュラムの設定にあたっては、事業の目的に沿ったものとする。
  - ・ 子供向けプログラミング言語の学習環境等を活用すること。
  - ・ 1 回で完結するカリキュラムを設定すること。
  - ・ 子どもたちが飽きずに参加できるよう工夫すること。
- (イ) 講師の選定に関すること
  - ・ 講師は、メインの講師のほか、初心者参加者が円滑に制作に臨めるよう技術面のサポートスタッフを必要人数招聘すること。
  - ・ 講師、サポートスタッフの選定にあたっては、県と協議し決定すること。
- (ウ) 会場の選定に関すること

- ・ 会場の選定にあたっては、参加者である小中学生の交通手段に配慮すること。
- (エ) 機器の準備に関すること
  - ・ 当日使用するパソコンは、参加者1人につき1台準備すること。また、その他、運営に必要な機器についても、適宜準備すること。
- (オ) 広報及び参加者の募集に関すること
  - ・ 計画的かつ効果的な広報に努めること。
  - ・ 県は、受託者からの依頼により、県の広報媒体に掲載する。
  - ・ 事業の実施にあたっては、県内のIT企業、教育機関等と連携を図ること。
- (カ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関すること
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、インターネットを活用したオンライン授業とする等、感染拡大防止に十分配慮しながら流動的に事業を実施すること。

## (2) 高校生向けワークショップの開催

本事業では、長期間にわたり数名がチームを組んで、県内のIT技術者等とともにテーマに沿ったアイデアを出し合い、複数回のワークショップを通じてIT技術者との交流を深めるとともにアイデアを具現化することに取り組む。

### ① 実施概要

- (ア) 対象者 県内の高校生及び工業高等専門学校生
- (イ) 開催回数 3回程度
- (ウ) 募集人員 20名程度
- (エ) 開催時期 高等学校等の週休日
- (オ) 開催場所 大分県内
- (カ) 内 容
  - (a) ワークショップの開催に関すること
    - i テーマ設定に関すること（各グループで選定、又は共通テーマ選定）
    - ii 開催日の設定に関すること
    - iii 講師の選定、依頼に関すること
    - iv 会場の準備、後片付けに関すること
    - v 使用する機器の準備、後片付けに関すること
    - vi 参加者へのアンケート作成・収集等に関すること
    - vii 当日のテキストの作成、進行に関すること
  - (b) 広報及び参加者の募集に関すること
    - i ワークショップの広報に関すること
    - ii 参加者の募集に関すること
    - iii 参加者の決定に関すること

### ② 業務の詳細及び補足説明

- (ア) カリキュラムの設定に関すること
  - ・ カリキュラムの設定にあたっては、事業の目的に沿ったものとする。
  - ・ テーマに沿った講師セミナー等も行うこと。
  - ・ 最終の回では成果物発表の時間を設けること。
- (イ) 講師の選定に関すること
  - ・ 講師は、メインの講師のほか、IT技術者のサポートスタッフを必要人数招聘すること。
  - ・ 講師、サポートスタッフの選定にあたっては、県と協議し決定すること。
- (ウ) 会場の選定に関すること
  - ・ 会場の選定にあたっては、参加者である高校生等の交通手段に配慮すること。
- (エ) 機器の準備に関すること
  - ・ 運営に必要な機器について、適宜準備すること。
- (オ) 広報及び参加者の募集に関すること
  - ・ 募集は全県にわたって行い、計画的かつ効果的な広報に努めること。
  - ・ 県は、受託者からの依頼により、県の広報媒体に掲載する。

- ・ 事業の実施にあたっては、県内の IT 企業、教育機関等と連携を図ること。
- (カ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関すること
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、インターネットを活用したオンラインワークショップとする等、感染拡大防止に十分配慮しながら流動的に事業を実施すること。

### (3) IT 業界に関する出前授業の開催

本事業では、技術進化や変化のスピードの速い IT 業界について、高校生等若い世代の理解を促進し、職種に対する興味・関心を育み、将来の就職先としての選択肢拡大につなげる。

#### ① 実施概要

- (ア) 対象者 県内高校生、工業高等専門学校生
- (イ) 開催回数 3～5 回程度
- (ウ) 開催時期 随時（指定なし）
- (エ) 開催場所 大分県内の高等学校、工業高等専門学校
- (オ) 内 容

##### (a) 出前授業に関すること

- i IT 業界の現状や職種、トレンドといった具体的内容に関すること。
- ii 開催日時等、申込機関との調整に関すること。
- iii 会場の準備、後片付けに関すること。
- iv 使用する機器の準備、後片付けに関すること。
- v 参加者へのアンケート作成・収集等に関すること。

#### ② 業務の詳細及び補足説明

- (ア) 具体的内容に関すること
  - ・ 学生がイメージしやすいよう動画を使用するなど、IT 業界の具体的業務内容について工夫して伝えること。
  - ・ 最低 1 社は県内企業からの会社業務内容説明時間を設けること。
- (イ) 機器の準備に関すること
  - ・ 運営に必要な機器については、適宜準備すること。
- (ウ) 広報及び参加者の募集に関すること
  - ・ 募集は全県にわたって行い、計画的かつ効果的な広報に努めること。
  - ・ 県は、県高校教育課及び私学振興課等関係機関に周知する。
  - ・ 事業の実施にあたっては、県内の IT 企業、団体、教育機関等と連携を図ること。
- (エ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関すること
  - ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、インターネットを活用したオンライン授業とする等、感染拡大防止に十分配慮しながら流動的に事業を実施すること。

### (4) (1) から (3) に付随する業務

- ① 委託業務にかかる経理に関すること。
- ② 委託業務の進捗状況を必要に応じて報告すること。
- ③ 前各号に定めるもののほか、事業実施に関し、県の指示すること。
- ④ その他、事業の運営に関して必要なこと。

### (5) 報告書の作成

本業務完了後、上記 (1) から (4) の実績、アンケート結果の分析、考察のほか、次世代の IT 人材の育成に係る課題等を整理した報告書を作成すること。

## 4 委託期間

契約締結の日から令和 3 年 3 月 19 日までとする。

## 5 注意事項

- (1) 本業務の遂行に関し、担当者を定めるとともに、事業に必要な能力と経験を有する業務責任者を定めること。
- (2) 本業務の遂行にあたり、疑義等が生じた場合は、県と十分協議すること。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染状況に十分留意し、スケジュールや内容等の変更が必要と思われる場合は、県と十分協議すること。